

平成29年度 各種農業関係表彰一覧

受賞名	受賞者名	受賞理由
大日本農会農事功績者表彰 (緑白綬有功章)	田中 藤右工門 氏	地元集落はもとより近隣地域の農業者の良き相談役となり、自身の規模拡大だけでなく、地域農業の発展に寄与された。また、若手農業者の育成にも積極的に取り組んでいることが評価
福井県主要作物振興協会 麦作優秀者表彰 農家の部 福井県主要農作物振興協会 会長賞	寺井 敏高 氏	ソーウェイローターによる深耕と稲ワラ鋤込みによる土づくりの実践および額縁排水溝・補助暗渠等による圃場の排水性向上により、大麦(品種名:ファイバースノー)栽培において、県内の見本となる優秀な成績が評価
福井県主要作物振興協会 麦作優秀者表彰 集団の部 福井県知事賞	西下野生産組合	集落営農組織のモデルとして農業機械・施設の共同利用とブロックローテーションによる団地化、および基肥一括肥料の使用による生産性の向上と労働時間の短縮が、優良事例として評価

福井合同庁舎内への事務所等の移転お知らせ

福井合同庁舎耐震化工事の完了に伴い、
12月に次のとおり事務所等が移転しますのでお知らせします。

事務所等名	現住所	移転場所	移転日
福井農林 総合事務所	企画振興室	福井合同庁舎 3階	12月11日(月)
	農村整備部		
	林業部		
	農業経営支援部		
ふくい農林水産支援センター	福井市寮町辺操52-21 ふくい農林水産 支援センター研修館内	福井合同庁舎 4階	12月4日(月)
福井県農業会議	福井市寮町辺操52-21 福井県農山漁家生活 近代化センター 2階	福井合同庁舎 2階	12月4日(月)

編集後記

食欲の秋です。本誌で紹介している「ふくい新米フェア」は生産者の方と触れ合うことができ、地元の食材を堪能できる絶好の機会となりました。福井国体まで1年を切りました。実りの秋に開催される国体。県外のより多くの人に福井の美味しい農産物を知ってもらいたいですね。(企画振興室 山岸)



〒910-8555 福井市松本3丁目16-10 (福井合同庁舎内)

TEL 企画振興室(直通) 0776-21-8201

農業経営支援部(直通) 0776-21-8209

林業部(直通) 0776-21-8213

農村整備部(直通) 0776-21-8216

E-Mail: fuku-noso@pref.fukui.lg.jp

F-mail

No.54
平成29年11月発行

福井農林総合事務所だより

次世代を担う小学生に 福井の農業の魅力と誇りを発信します!

平成11年に着工した九頭竜川下流地区の農業用パイプライン事業が完了し、九頭竜川鳴鹿大堰から取水するきれいで冷たい水が、昨年4月から約1万2千ヘクタールの農地に安定供給されています。

このパイプラインを含め、日本一の生産基盤を備えた九頭竜川流域の農業を広く発信するため、昨年度から当所職員がゲストティーチャーとして、学校に出向いて授業や体験学習に参画し、児童にわかりやすく福井の農業を伝えています。

また、今年度からは、パイプラインの仕組みが分かる実験や平成28年11月に世界かんがい施設遺産に登録された「足羽川用水」の歴史的・技術的・社会的価値を伝えるなど、より充実した内容にしています。

今年度は、福井市、永平寺町の小学校20校で実施しました。来年度はさらに実施校を増やしていく予定です。

出前授業

福井市大安寺小学校5・6年生

- 1 ゲストティーチャーが全国的に最先端を行く福井の農業を説明
- 2 グループ討論・発表(昔と今の水田ほか)
- 3 クイズに挑戦(おコメとパイプライン)
- 4 無人トラクタ試験映像の視聴
- 5 パイプラインの仕組みを観察
- 6 足羽川用水 世界かんがい施設遺産登録を紹介

学校田での稲刈り・はさがけ体験

福井市栗小学校3年生

- 1 稲刈り
- 2 はさがけ準備
- 3 はさがけ
- 4 はさがけ完成

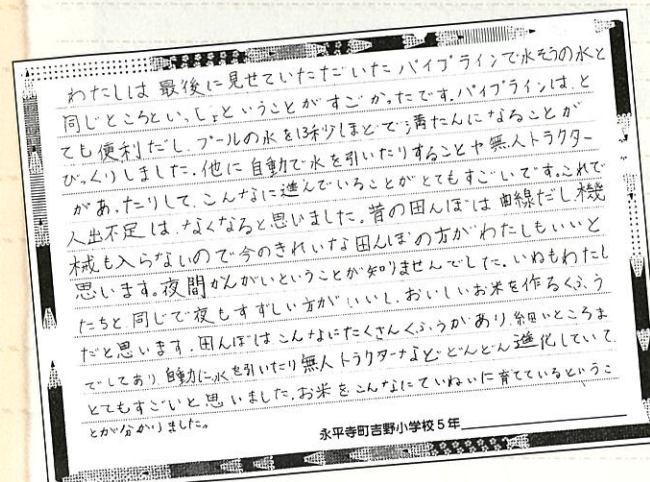


先生

- 農業の現状や新たな展開が知れて児童共々ありがたい。
- 講義形式でなく、グループ討論・発表など参加型の授業内容であり、児童の反応もとても良い。

児童

- 福井県は、日本の中でもお米づくりの技術が進んでいることがわかった。
- 用水路には、開水路と管水路(パイプライン)があり、それぞれの利点と欠点がわかった。
- パイプラインになり、きれいで冷たい水でおいしいお米が作れてとてもいいなと思った。
- 高齢化が進んでいるので、農業をやりたいと思った。





昔ながらの「はさがけ」で 九頭竜天日干し米が出来ました!

新米

当所と管内生産者が共働し、パイプラインのきれいで冷たい水を使った「夜間かんがい」と昔ながらの「はさがけ」を行い、じっくりと太陽の日差しで自然乾燥させた九頭竜天日干し米が出来上がりました。

平成29年10月7日(土)、8日(日)には、ハピテラスで開催された「ふくい新米フェア」で生産者自らが自慢のお米を販売しました。お米の試食を通して、味や香りの良さを実感してもらおうとともに、はさがけの取り組みをPRしました。

来年度も、高付加価値米の生産拡大と販路開拓を進めていきます。



はさがけ展示



生産者による試食販売



※来年度、学校教育で「出前授業」を取り入れたい先生や「はさがけ」に取り組みたい生産者の方、九頭竜天日干し米の販売先をお知りになりたい方は、ぜひ、農村整備部計画管理課までご一報ください。

(農村整備部 古川)

「単年どりアスパラガス」栽培について

「単年どりアスパラガス」栽培は、減農薬栽培が可能で、
苗を植えてから1年後に収穫する栽培方法です。



- 雨よけハウス等が不要で初期投資が少ない。
- 収穫時期は4月初～5月末(ピークは4月中～下旬)
- 病害虫の発生が少ないため、農薬散布が少ない。

売上 100万円 / 10a 所得 69万円 / 10aを目指せます (単収1t / 10aの場合)

- アスパラガスは、通常、苗を植えてから3年目の春に収穫を始め、10年以上栽培を行います。
- しかし、福井地区では、積雪や梅雨時期の多雨により、2年目から茎枯病等の発生が多くなり、収量・品質が低下してしまいます。
- そのため、徹底的な病気予防(農薬散布)を行うか、病害の発生が軽減できる雨除けハウス等が必要になり、農家の負担が大きいが課題でした。
- そこで、ハウス等が不要で、しかも、農薬散布が少ない「単年どり栽培」を推進しています。
- アスパラガスは、販売単価が比較的高く安定しているため、小面積でも収入が見込めます。使用する品種は「ウィンデル」で、4～5月に苗を植えて、翌年4～5月に収穫し、収穫後に鋤き込みます。現在、福井市北部地区で実証栽培を行っています。興味のある方は、農業経営支援部技術経営支援課までお問合せください。



単年度どりアスパラガス栽培 (品種:ウィンデル、8月撮影)

単年どりアスパラガス
栽培こよみ

○ 播種 ● 定植 ■ 収穫

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		育苗				適時防除・追肥				刈り取り	
			●	●	●	●	●	●	●	●	●

みんなで使おう“ふくいの木”!!



県産材の利用を
勧める活動



利用時期を迎えた福井の森林資源を有効に活用し、“木の地産地消”を進めるため、本年7月に、みんなでおおう「ふくいの木」促進条例が定められました。

8月末には木材関係者を中心として、木材の良さの普及啓発を行ったり、県産材の積極的な利用を進める「ふくいの木を使ってもらい隊」を結成し、企業へ利用の働きかけを行っています。

また、10月を「ふくいの木の利用推進月間」と定め、参加・体験型のイベントを総合グリーンセンターで開催しました。木工体験や木のおもちゃコーナーなど、県民の皆さんが木に触れ、親しみを持つ機会も持ったところでは。

イベントでの
木工体験

このほか、緑の少年団や公民館を対象とした、木を使う体験活動を行っています。多くの方々にご参加いただき、ふくいの木の良いところを知ってもらい、ますます福井の木の利用が進むことを期待しています。

皆さんも木のある生活を送ってみませんか。

(林業部 和多田)



住宅での
利用

県産材の柱などを使った新築住宅や、
リフォーム等への助成制度も利用してね!
詳しくは林業・木材活用課まで

